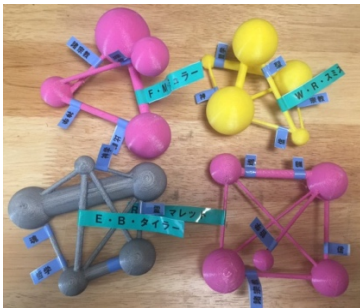
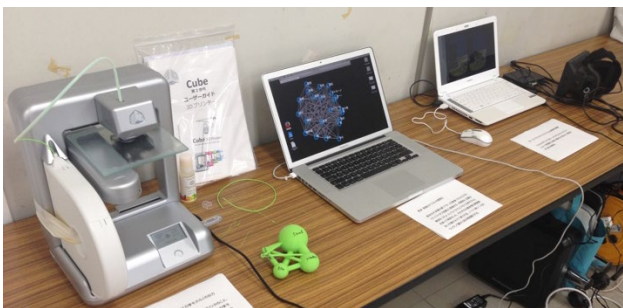


課題番号	19HT0039	分野	人文	キーワード	哲学、思想、人文学
研究機関名	筑波大学				
プログラム名	見て触って、多様な「哲学」を考えよう！				
先生（代表者）	土井裕人（どい ひろと）・人文社会系・助教				
自己紹介	小学生の頃、将来の夢はリニアモーターカーの研究開発。人間が生きる根源を問いたくて哲学・宗教学の道に進路変更するも、大学生時代は文系学部からロボットコンテストに参戦していました。その後は宗教思想の文献研究を続けています。抽象的で難解な宗教思想の概念を誰にも理解しやすい感覚対象として表現する研究や、多様な人たちが研究に携わる社会的な仕組みの構築にあたっています。				
開催日時・募集対象	2019年8月8日（木）	受講対象者	高校生・中学生	募集人数	30名
集合場所・時間	筑波大学筑波キャンパス人文社会学系棟 A101 会議室	（集合時間）	10時30分		
開催会場	筑波大学第一エリア（筑波キャンパス） 住所：〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 アクセス：http://www.tsukuba.ac.jp/access/gmap/gmap.php?i=117080				
内 容					
人文学、特に哲学や思想といった領域は、目に見えないものを考える学問です。しかし、それを実際に行うのは簡単ではありません。哲学や思想の研究は、これまで文献を読んで解釈することを中心に進められてきました。しかし今日では、コンピュータなどの技術を活用することで、従来は読んで考えていた難しいものを、目で見たり手で触れたりすることができるようになってきました。そんな新しい人文学の世界を体験するとともに、参加者の考えを共有して新たな発想を生み出すワークショップもしてみましょう。これまでの実施では、人文系だけでなく理工系を目指す皆さんや、女子生徒の参加も多くありました。志望分野や性別などにかかわらず、積極的な参加をお待ちしています。					
					
スケジュール				持ち物	
10:00～10:30 受付（集合は筑波大学筑波キャンパス人文社会学系棟 A101 会議室）				筆記用具、好奇心	
10:30～11:00 イントロダクション・科研費の説明				（パソコン等端末を使う方はご持参ください）	

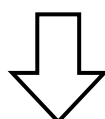
11:00～11:15 休憩	特記事項 中学生と高校生（中等教育学校を含む）が受講対象ですので、どちらにも理解できるように工夫しています。内容に興味を持ってもらえれば大丈夫でしょう。
11:15～12:00 講義「見えないものを考えて、新たな世界を開く」	
12:00～13:30 昼食・休憩	
13:30～14:15 実習①「哲学・思想を「見て」考えてみよう～二次元から・三次元から～」	
14:15～14:30 休憩	
14:30～15:15 実習②「哲学・思想を「触って」考えてみよう～「考える」を拡張する～」	
15:15～15:30 休憩	
15:30～16:15 ワークショップ・ディスカッション	
16:15～16:30 休憩	
16:30～17:00 クロージング・アンケート記入・未来博士号授与	
17:00 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	筑波大学人文社会系・助教／土井裕人（どい ひろと）
住 所：	茨城県つくば市天王台 1-1-1 人文社会学系棟 A819
TEL 番号：	029-853-4265
FAX 番号：	029-853-4004
E - m a i l：	doi@logos.tsukuba.ac.jp
申込締切日：	2019 年 7 月 31 日（水）
※当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
土井裕人	H28-30	挑戦的萌芽研究	16K13156	人文情報学を活用した宗教学の新たな教育方法論の構築と研究への循環
土井裕人	H25-28	若手研究(B)	25770021	西洋古代を中心とした宗教思想研究への人文情報学の応用
土井裕人	H22-24	若手研究(B)	22720026	神秘主義をめぐるプラトニズムの宗教思想史とその方法



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。